

総合的な学習の時間「田原」の単元計画【第 6 学年：70時間】

【探究課題】観光

【単元のねらい】外国人観光客が魅力を感じていることを調べたり地域の観光に携わる人に話を聞いたりする活動を通して、自分たちの住む地域が大切に守ってきた文化の資源のよさに気づき、地域の発展を願って自分たちにできることを考え、まちづくりに積極的に関わることができるようにする。

【単元のめあて】「浅草と世界をつなごう！」

【評価規準】

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 浅草には浅草観光センター等、外国人を支援する行政機関があることを知るとともに、多様な国の人々が訪れる地域のよさを理解している。 ② インタビューによる街頭調査を相手や場面に応じた方法で実施している。 ③観光に対する自らの認識の高まりは地域と外国人を繋げるために探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	①「外国人観光客に浅草の魅力をもっと伝えたい」という明確な相手意識や目的意識をもち、その目的を達成するために自分たちが取り組みたいことについて考え、活動の見通しをもつことができている。 ②街頭調査において行う質問について、必要とする情報に応じて質問の内容や方法を決めている。 ③外国人観光客に浅草の魅力を伝えるために「実現可能か」「有効か」等の視点を結びつけて活動の根拠を見出している。 ④活動を通して学んだ自分からの思い、学びによる自己の変容を、自分の考えをまとめている。	①探究活動の各段階において、自分の学習の仕方や感じている思いを振り返り、次の学習に生かしている。 ②課題解決をしていく際、他者とすすんで関わり、自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 ③浅草の魅力を発信する学習を通して、自分にできることを考え、よりよい社会の実現に努めようとする。

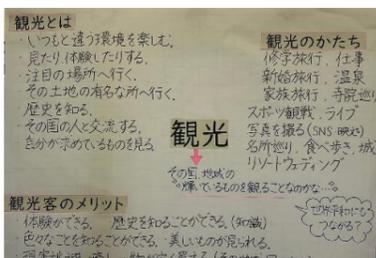
【小単元1のめあて】浅草の魅力について知ろう

18h

1学期

【課題の設定】①

○台東区の特徴を見直し、日本観光振興協会のグラフから、「外国人観光客が減少していることを知る。



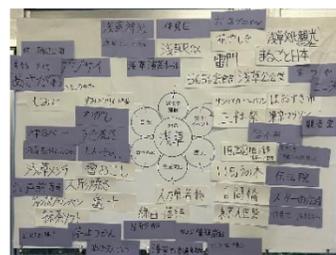
【情報の収集】②③④

○観光課 GT の話から、区での取り組みや観光客減少の課題について知る。
 ○浅草を訪れる観光客に「なぜ台東区に来たのか」をインタビューし、実態を把握する。

「文化」「食事」「買い物」「その他」の視点に基づいてインタビューを行う。

【整理・分析】⑤⑥

○調べたことを項目ごとに比較、分類しながら情報の整理・分析を行う。



【まとめ・表現】⑦⑧⑨

○活動を振り返り、事故の学び方や成果と課題を見つめ直す。



【小単元2のめあて】浅草の魅力を発信する方法を考えよう

25h

2学期

【課題の設定】

○外国人観光客への該当インタビュー結果をもとに、招待するカードに何を載せるかを考える。

【情報の収集】

○自分の思いや経験を踏まえて、カードに載せたい浅草の行事を考える。

【整理・分析】

○グループごとにカードに載せたい行事・観光スポットについて友達と意見を交流し、吟味する。

【まとめ・表現】

○活動を振り返り、自己の学び方や成果や課題を見つめ直す。

【小単元3のめあて】浅草の魅力を世界に発信しよう

27h

3学期

【課題の設定】

○完成したカードを使った発信方法を考える。

【情報の収集】

○他地域の観光課の取り組みを調べる。

【整理・分析】

○カードの配布の仕方等をグループごとに友達と意見を交流し、吟味する。

【まとめ・表現】

○浅草を訪れる外国人観光客に作成したカードを配布する。
 ○単元全体について振り返り、自己の変容をまとめる。